

事業番号

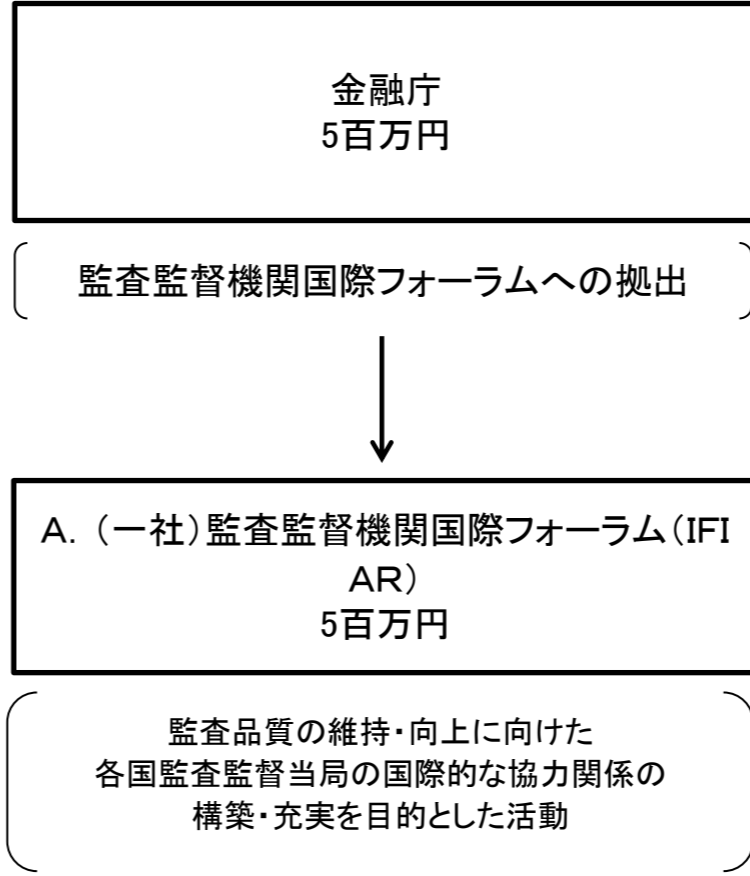
2023 - 金融 - 22 - 0038

令和5年度行政事業レビューシート		( 金融庁 )					
事業名	国際機関分担金 (IFIAR)			担当部局	総合政策局	作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	IFIAR戦略企画本部IFIAR戦略企画室	園田 周	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) 憲章第9条		
政策				主要経費	その他の事項経費		
施策							
政策体系・評価書URL							
事業の目的 (5行程度以内)	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) は、グローバルに監査監督を向上させることにより、投資家を含む公益に資することをミッションとし、①当局間で知見を共有し加盟当局の能力向上を図るとともに、②協調して国際的に重要な監査関係者と対話を行うことで、グローバルな監査品質の向上、ひいては資本市場の公正性・透明性の向上に取り組んでいる。正副議長レベルでのIFIARを代表した活動や、その運営についての意思決定機関である代表理事会における議論のほか、具体的な取組はWG(ワーキンググループ)やTF(タスクフォース)が担っている。 本事業は、監査監督に関する国際的な議論に積極的に参画すること等を通じ、資本市場の公正性と透明性の向上、ひいては我が国経済の持続的な成長に資することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	IFIARは、監査市場を巡る環境や監査監督機関の活動等に係る情報共有、監査監督活動における協調関係の促進、他の国際機関との連携拠点の提供等を活動内容としている。設立当初は会合開催国が管理運営費用を負担していたが、会合を重ねるにつれ加盟国は増加しており(2023年7月現在、54か国・地域の監査監督当局が加盟)、開催国が全費用を負担することは極めて困難であるため、2010年より各国の分担金において管理運営されることとなっている。						
事業概要 (5行程度以内)	IFIARの各加盟当局が負担すべき事務運営費としての分担金						
事業概要URL	<a href="https://www.fsa.go.jp/ifiar/20161207-1.html">https://www.fsa.go.jp/ifiar/20161207-1.html</a>						
実施方法	その他						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	6	6	7	9	9
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	6	6	7	9	9
執行額(G)	5	5	5				
執行率(%) =(G)/(F)	83%	83%	71%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	83%	83%	71%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	金融庁共通費					
	(目)	証券監督者国際機構等分担金	9	9			
		その他					
	計(A)	9	9				

活動内容① (アクティビティ)		監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の各加盟当局が負担すべき事務運営費としての分担金の支払									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		IFIAR事務局の円滑な運営	国際機関への加盟国又は加盟機関の責務に係る分担金の負担実施件数	活動実績	件	1	1	1	-	-	
				当初見込み	件	1	1	1	1	1	
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
		IFIAR事務局の円滑な運営には、各加盟当局が分担金を支払うことが必要であるが、その意思決定に深く関与するには、IFIAR内の議論に積極的に参画することが必要。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度		
		国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく	IFIARにおける5つの主要なワーキンググループのうち、日本がメンバーとして出席するワーキンググループ数	成果実績	グループ	5	5	5	-		
				目標値	グループ	5	5	5	5		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・IFIAR Annual Report (IFIARウェブサイトより)									
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
		IFIARにおける重要な意思決定機関である代表理事会のメンバーになるためには、分担金を支払い、IFIARのワーキンググループに参画するなどの各種要件を満たす必要がある。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度		
		国際的な議論に積極的に参画し、日本のプレゼンスを高め、国際協調に貢献していく	IFIARにおける重要な意思決定機関である代表理事会への参加回数	成果実績	回	5	5	5	-		
				目標値	回	5	5	5	5		
				達成度	%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		内部資料									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		アクティビティから長期アウトカムについて6つ以上記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称										
	URL										
	該当箇所										
事業所管部局による点検・改善											
点検結果	<p>○本経費は、監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の各加盟国が負担すべき事務運営費としての分担金であり、令和4年度の成果目標 (IFIARにおける重要な意思決定機関である代表理事会への参加回数 (令和4年度: 5回開催中5回)、IFIARにおける5つの主要なワーキンググループのうち、日本がメンバーとして出席するワーキンググループ数 (令和4年度: 5つ全てに参加)) を達成していることから、適切に執行されていると考える。</p> <p>○費用の支出や国際会議への参加に加え、令和3年4月から令和5年4月まではIFIAR副議長を当庁職員が務めることにより、国際的な議論を積極的に主導し、日本のプレゼンスを高めるとともに国際協調に貢献した。また、令和5年4月以降はIFIAR議長を当庁職員が務めることになったことから、更に日本のプレゼンスを高めるとともに国際協調に貢献できると思われる。</p>							目標年度における効果測定に関する評価 (令和6年度実施)			
改善の 方向性	本会合・代表理事会等の国際会議への参加を通じ、積極的に国際機関の運営に関わるとともに、IFIAR議長国として、引き続き適切なガバナンスの実施や円滑な議論を進める等して国際機関に対して効率的かつ効果的な運営を求める。										

外部有識者の所見													
点検対象外													
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見													
現状通り	○今まで確認した資金使途の内容も踏まえ、真に必要な要求内容となるよう精査し、拠出した資金が有効に活用されるよう、資金使途を確認すること。												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
現状通り	<small>○IFIARの代表理事国及び議長国として、監査品質の向上に関する国際的な議論において引き続き主導的な役割を果たしていく。  ○本経費については、IFIARの会計報告を通して資金使途の適切性及び有効性を確認し、適切な場合にはIFIARにより効率的かつ効果的な組織運営を求めていくこととしつつ、令和6年度においては、前年同規模の予算要求を行っていく。</small>												
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ												
	上記への対応状況												
	その他の指摘事項												
	上記への対応状況												
	備考												
	関連する過去のレビューシートの事業番号												
平成23年度	3												
平成24年度	3												
平成25年度	3												
平成26年度	3												
平成27年度	17												
平成28年度	19-6												
平成29年度	26												
平成30年度	27												
令和元年度	金融庁	-			0027								
令和2年度	金融庁				0027								
令和3年度	2021	金融	20		0031								
令和4年度	2022	金融	21		0032								

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 用途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.			
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
事務運営費	監査監督機関国際フォーラム (IFIAR) の事務運営	5					
計		5	計				
費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人監査監督機関国際フォーラム	6010005026240	グローバルな監査品質の向上等	5	その他			
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック